

大使館情報 (政治経済情勢、トピックス、大使館からのお知らせ)

2024年4月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢 (3月の出来事)

【内政】

- (1) ルーラ政権の支持率が低下
- (2) ボルソナーロ前大統領を文書偽造等の容疑により立件

【外交】

- (1) ルーラ大統領の第8回 CELAC 首脳会合出席
- (2) 伯ベネズエラ首脳会談
- (3) 伯スペイン首脳会談
- (4) ヴィエイラ外相のパレスチナ訪問
- (5) 伯ロシア外相電話会談
- (6) 伯フランス首脳会談

3. トピックス

- (1) 林大使のジャパンハウス・サンパウロ展示会「DÔ: a caminho da Virtude (道: 徳の極みへ)」開会式への参加 (2月26日)
- (2) 林大使の滋賀県訪問 (3月4日)
- (3) 林大使のマット・グロッソ・ド・スール州公式訪問 (3月25~26日)

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（3月発表の経済指標）

- (ア) 2月の鉱工業生産は前月比▲0.3%、前年同月比+5.0%となった。
- (イ) 1月の小売売上高は前月比+2.5%、前年同月比+4.1%となった。
- (ウ) 2月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.83%となった（前月：+0.42%）。12か月累計では+4.50%となった（前月：+4.51%）。
- (エ) 失業率（2023年12～2024年2月）は7.8%となり、3か月前（2023年9～11月）の7.6%から上昇した。また前年同期（2022年12月～2023年2月）の8.6%から0.8%ポイント低下した。
- (オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus 調査）について、3月28日時点で、GDP成長率予測については、2024年は+1.89%（前週から0.04%ポイント上昇）で、2025年は+2.00%（前週から変わらず）となった。インフレ率については、2024年は3.75%（前週から変わらず）で、2025年は3.51%（前週から変わらず）となった。

(2) 経済政策等

- (ア) 財務省は2024年の予算に関する最初の分析報告書を提出、それによると2024のプライマリーバランスはGDPの▲0.1%に相当する93億レアルの赤字となり、政府は赤字幅を改善する為、29億レアルの支出を削減することを発表した。
- (イ) 財務省税制改革担当特命次官のベルナルド・アピ氏は、3月26日、消費関連の税に関する補足法について4月中旬に議会に提出される見通しを示した。

(3) 金融政策

3月19日及び20日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を50bp引き下げて10.75%とすることが決定された。次回会合は5月7日及び8日に開催予定。

(4) 為替市場（レートは伯中銀の公表値から算出）

- (ア) 3月の為替市場は4.94～5.03レアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は4.94～4.99レアル/ドルで推移。海外の金融政策の見通しを材料に概ねレアル安方向に推移した。
- (ウ) 月の後半は4.98～5.03レアル/ドルで推移。伯経済や海外の金融政策の見通し等を材料に概ねレアル安方向に推移した。

(5) 株式市場

- (ア) 3月の株式市場は126,124～129,180ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は126,124～129,180ポイントで推移。資源価格の動向や国内経済の動向等を材料に概ね下落傾向で推移した。

- (ウ) 月の後半は126,863~129,125ポイントで推移。資源価格の動向や海外経済の動向等を材料に概ね横ばいで推移した。

2. ブラジル政治情勢 (3月の出来事)

【内政】

(1) ルーラ政権の支持率が低下

Ipec社が3月1日から5日にかけて2千人を対象に実施した世論調査によると、ルーラ政権に対する評価の内、「非常に良い/良い」は昨年12月の38%から33%に低下した。「普通」は33%、「悪い/非常に悪い」は32% (2ポイント増)であった。「非常に良い/良い」は、41%を記録した昨年3月以降最低で、「悪い/非常に悪い」(昨年3月は24%)は最高となった。

(2) ボルソナーロ前大統領を文書偽造等の容疑により立件

19日、連邦警察は、ボルソナーロ前大統領が自身の新型コロナワクチン接種証明書を偽造した疑惑に関し、ボルソナーロ前大統領、マウロ・シディ同前大統領付副官等17名を文書偽造、偽造文書使用、犯罪組織結社罪等の容疑により立件した。マウロ・シディ同前大統領付副官は、警察の取り調べに対し、「ワクチン接種証明書の偽造は、ボルソナーロ前大統領の指示により行った」と供述している。

【外交】

(1) ルーラ大統領の第8回 CELAC 首脳会合出席

3月1日、ルーラ大統領は、セントビンセント・グレナディーン諸島を訪問し、第8回 CELAC 首脳会合に出席した。ルーラ大統領は、ラ米・カリブ諸国に対し、国際機関や交渉の場で協力すること及び持続可能な社会開発とエネルギー転換に対する関心を持つことを呼びかけ、また、イスラエルとハマスの紛争の即時停戦に関する動議を要求する演説を行った。

(2) 伯ベネズエラ首脳会談

3月1日、第8回 CELAC 首脳会合のマージンにおいて、ルーラ大統領は、マドゥーロ・ベネズエラ大統領と会談を実施した。会談では、経済状況、二国間貿易、国境地帯での違法採掘を抑制するためのパートナーシップ、ベネズエラ大統領選挙について協議された。

(3) 伯スペイン首脳会談

3月6日、ルーラ大統領は、サンチェス・スペイン首相とブラジリアで会談を実施した。会談では、スペインの対伯投資、エネルギー転換、EUメルコスールFTA、ウクライナ紛争、中東危機等について協議された。

(4) ヴィエイラ外相のパレスチナ訪問

3月17日、ヴィエイラ外相は、アッバース・パレスチナ大統領と会談を実施した。会談では、イスラエルとパレスチナの紛争の現状とガザの深刻な人道危機について協議された。

(5) 伯ロシア外相電話会談

3月26日、ヴィエイラ外相は、ラブロフ・ロシア外相と電話会談を行い、「クロッカス・シティ・ホール」襲撃事件の犠牲者への哀悼の意と、ブラジルはいかなるテロ行為も非難する旨を伝えた。また、両外相は、3月25日に採択されたガザ地区での即時停戦を求める安保理決議を含む、同地区における最新の情勢について意見交換を行った。

(6) 伯フランス首脳会談

3月28日、ルーラ大統領はマクロン・フランス大統領と会談を実施した。マクロン大統領は26日から28日にかけて、ベレン市、イタグアイ市、サンパウロ市、ブラジリアの4都市を訪問した。ブラジリアでは、両国間のさまざまな取決めや協定の署名が行われた。今回の訪問は、歴史、政治、文化及び経済的な関係を強化し、特に環境問題や気候変動との闘いに関する両国間の共同行動計画を拡大するものであった。

3. トピックス

(1) 林大使のジャパンハウス・サンパウロ展示会「DŌ: a caminho da virtude(道：徳の極みへ)」開会式への参加(2月26日)

2月26日、林大使はブラジリアのブラジリア美術館(MAB: Museu de Arte de Brasilia)で開催されているジャパンハウス・サンパウロ展示会「DŌ: a caminho da virtude(道：徳の極みへ)」(在ブラジル大使館共催)の開会式に参加した。

冒頭、林大使、ジャパンハウス・サンパウロ館長代理及びMAB館長より挨拶を行い、その後、当地武道団体(剣道、空手、合気道、柔道)によるデモンストレーションが行われた。同展示会は4月28日まで開催され、日本の武道の歴史、技術、哲学を説明するとともに、武道の鍛錬を行う中で得られる礼の心や強靱な精神性を紹介しています。また、毎週末、ブラジリアの武道団体がワークショップを実施する予定となっています。



林大使及び関係者の挨拶



展示の様様



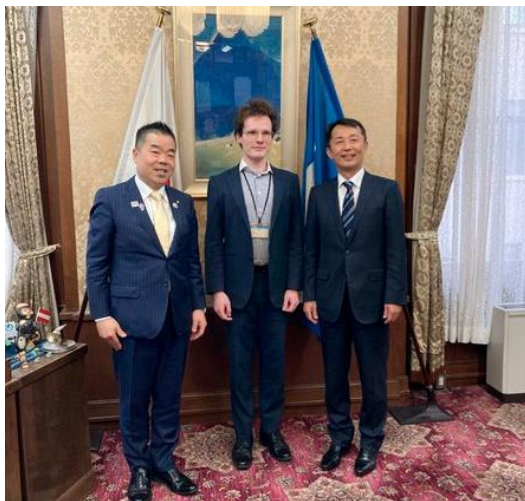
デモンストレーションの様様

(2) 林大使の滋賀県訪問 (3月4日)

林大使は用務帰国の機会を捉え、3月4日滋賀県を訪問し、三日月大造(みかずきたいぞう)滋賀県知事他と会談し、滋賀県と姉妹関係にあるブラジルのリオ・グランデ・ド・スール州との交流の活性化や協力、在住ブラジル人の支援、在ブラジル滋賀県人会等について意見交換を行った。また、JETプログラムの国際交流員として滋賀県庁に派遣されているギマラインスさんとも意見交換し、激励した。

滋賀県庁訪問に先立ち、林大使はブラジル人が人口の約3%をしめる愛荘町を訪問し、有村國知(ありむらくにとも)町長他と会談し、町が進める多文化共生の取り組みやブラジル人住民の支援等について意見交換を行った。

その後、ブラジル人家庭の0歳から18歳が通う「サンタナ学園」を訪問し、関係者から学園の運営状況や支援の必要性等について話を聞きました。また、授業を視察し、子供たちとも交流しました。



滋賀県庁訪問
(三日月知事及びギマラインスさんと)



愛荘町訪問(有村町長と)



サンタナ学園訪問

(3) 林大使のマット・グロツソ・ド・スール州公式訪問（3月25～26日）

3月25～26日、林大使は2回目となるマット・グロツソ・ド・スール（MS）州を公式訪問した。

25日、林大使は、MS 連邦大学を訪問し、トゥリン学長と学術交流、国費留学生、日本語普及等につき協議した。続いて、カンポ・グランデ沖縄県人会館を訪問し、エドゥアルド・カナシロ同会館会長始め代表者と意見交換を実施した。その後、サカイノカンポ・グランデ野球協会会長の案内の下、同協会所有の野球場を視察した。続いて、カンポ・グランデ日伯文化体育協会（AECNB）を訪問し、マリア・シロス会長他と日・MS 州関係につき意見交換を実施した。その後、リエデル MS 州知事を表敬し、経済、観光、環境分野において高いポテンシャルを有する同州と日本の関係促進や来年 2025 年の日伯外交樹立 130 周年等における協力関係強化につき意見交換を実施した。夜には、MS 州工業連盟（FIEMS）を訪問し、ロンジェン FIEMS 会長はじめ、同席したりエデル知事、日系社会代表等と夕食を共にしながら、日伯関係やブラジル内政につき意見交換を実施した。



MS 連邦大学訪問



沖縄県人会館訪問



リエデル州知事表敬



FIEMS 訪問

26日は、ブラジルで初めて設立されたカンポ・グランデ市の女性のための支援施設である「ブラジル女性の家（CMB:Casa da Mulher Brasileira）」を訪問し、カルラ・ステファニーニ/MS州女性課長始め関係者約30名と意見交換を行った。林大使からはDV対策を含めた日本の女性政策を紹介するとともに、女性分野における日伯協力案件を紹介した。続いて、女性・子ども・青年専用サービスセンター（CEAMCA:Centro Especializado de Atendimento à Mulher, à Criança e ao Adolecente em Situação de Violência)を視察した。その後、沖縄そばで有名な中央市場を視察し、アルヴィーラ・ソアレス中央市場協会会長と意見交換を実施した。最後に、州議会を訪問し、ジェルソン・クラロ議長、同席したロベルト・ハシオカ州議と、日・MS州関係につき意見交換を実施した。



「ブラジル女性の家」訪問



州議会訪問

今回の林大使によるMS州訪問は、前回2022年11月の訪問のフォローアップに加え、新たに、日系社会が大きな存在を示す同州の重要性を再確認する機会となった他、観光、農業、環境ポテンシャルの高い同州における経済貿易関係強化の文脈で、日本の更なる関係強化の潜在性が示される重要な機会となった。

4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)
在ベレン領事事務所 : [facebook](#)
在マナウス総領事館 : [facebook](#)
在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)
在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)
在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)
在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和5年度第3四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2023年12月6日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsposhazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏

- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2023年8月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え
査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連
絡先を公開しています。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2023年4月11日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html